

◆第2章：トップスポーツ組織のホームタウンに関するまとめ

【記載内容】 ※以下の設問に対する回答結果を記載。次頁以降に詳細データあり。

<問3> ホームタウン（本拠地）の有無

<問3-2> ホームタウンとは、どのような存在か？

【内容サマリー】

<問3>

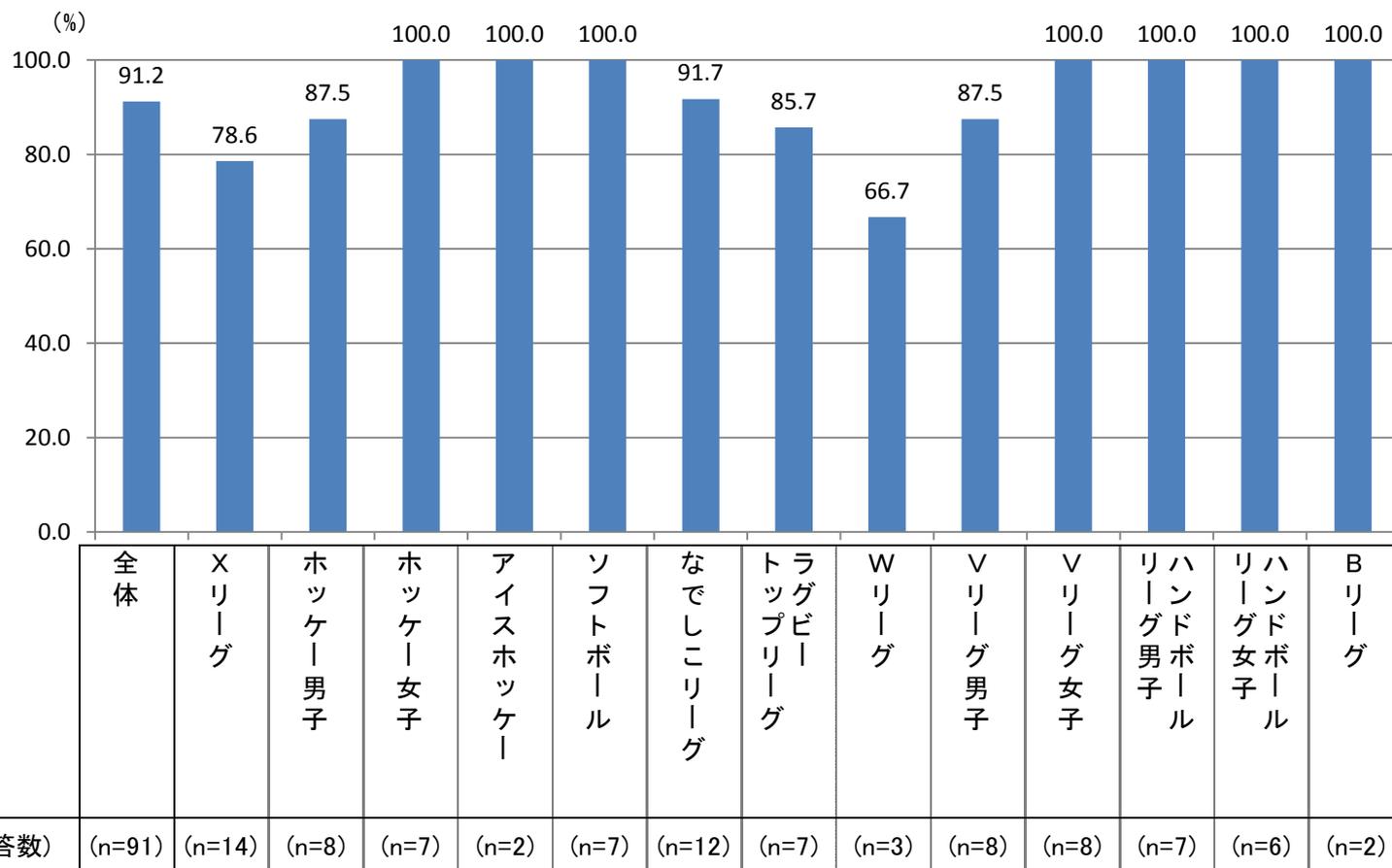
- ・全体では**約9割**の組織に「ホームタウン」あり。
- ・バレーボールVリーグとホッケーは、**女子の方が**「ホームタウンあり」と多く回答。

<問3-2>

- ・「**クラブの活動拠点**」と回答したクラブは**約4割**で最も多かった。
定義として“クラブの試合会場・練習場がある所”との認識が最も多い。
- ・「**地域密着の場**」と回答したクラブは**約2割強**で2番目に多く、
地域との連携に眼を向けているクラブも多い。

問3.貴団体にホームタウン（本拠地）はありますか？

- 全体平均ではクラブの**91.2%**が『チーム本拠地あり』と回答。なお、**リーグごとにバラつき**がある。
- Vリーグ（バレーボール）とホッケーは『チーム本拠地あり』と回答する比率は、**女子の方が男子より高い**。
- Wリーグ（バスケットボール女子）は**66.7%**に留まる。



問3-2.貴団体にとって『ホームタウン』とは、どういう存在でしょう？ ※自由記述

- 『クラブの活動拠点』が最も多く**24クラブ**（40.7%）が回答。
- 『地域密着の場』と回答したのが次に多く**14クラブ**（23.7%）。
- 『クラブの事業基盤（10クラブ）』や『母体企業や組織の所在地（9クラブ）』と回答したのは、**ほぼ同数**。

※自由記述方式の為、内容が近似なものは「集約」、異なる内容は「独立」して集計。

